

平成24年度 在宅医療連携拠点事業

第2回

上町地区多職種交流会

報告

医療法人明輝会 内村川上内科
在宅医療連携拠点事業推進室

日時：平成24年9月25日（火） 19：00～20：30

会場：鹿児島県医師会館 4階大ホール

参加者：146名

参加職種：行政担当 1名、医師会 2名、医師（開業医）6名、

歯科医師 8名、歯科衛生士 1名、薬剤師 8名、

看護師 20名、保健師 2名、ケアマネジャー 37名、

MSW 13名、PSW 2名、理学療法士 9名、

介護職員 30名、その他 7名

会次第

1. 「在宅医療連携拠点事業の取り組みについて」

内村川上内科院長 川上秀一

2. グループワーク

テーマ「多職種連携上の課題に対する解決策の検討」

第2回上町地区多職種交流会の目的

- ▶ 第1回多職種交流会（7/17実施）で抽出された「多職種連携上の課題」について、共通理解を図る
- ▶ それぞれの職種が抱える「多職種連携上を円滑に行う為の情報共有の方法」について、他職種を交えたグループワークを行い、様々な職種の視点から解決策を導く

医師が抱える多職種連携上の課題

○前回の議題

▶他の職種と連絡を取りやすい時間帯、またどのような連絡手段がいいか？



▽課題

- ・ 緊急要請がない場合の連絡は返事が遅くなる
- ・ 何を聞きたいのかわからない時がある

▽多職種への要望

- ・ 案件によっては直接話したい
- ・ 担当者会議は拘束時間が長いため参加は難しい
- ・ 介護的な面についてはケアマネがまとめて聞いてほしい
- ・ 他職種の方に最低限の医療的知識を持ってほしい

情報共有を円滑に行う為の解決策及び意見・要望

▽解決策

- ・ 病院のMSWやNsに時間の調整をしてもらい、医師とケアマネの面会時間をつくる
- ・ 歯科受診の際に、診察カードのコピーをとる
- ・ 事前に医師にほしい情報を伝えておき、面会時間の短縮を行う
- ・ 訪問診療の前後に医師へ訪問する
- ・ 管理する患者が多い場合、キューアケアネットなどを利用する

▽意見・要望

- ・ 薬に関しては薬剤師に頼りたい
- ・ 医師へ文面を通して連絡をとりたい（ケアマネ）
- ・ 医師とはFAXでの連絡が多いが直接会って聞きたい情報もある（歯科医）
- ・ 医師へ情報を伝える必要があるかMSWがチェックしてほしい
- ・ 医師から声をかけてもらったら話しやすい（介護職員）
- ・ 休診日にも連携をとりたい
- ・ 薬で困ったことがあれば手帳に記入してほしい（薬剤師）
- ・ 在宅生活が可能かの判断は、ケアマネが医師やMSWに連絡を取り相談してほしい

歯科医師が抱える多職種連携上の課題

○前回の議題

▶他の職種と連携を行う際に、どのような情報がほしいか？



▽課題

- ・ 治療内容（義歯なのか、残存歯なのか？等）の情報がはっきりしない
- ・ 歯科と医科での共通の言語が少なく情報共有の方法が難しい

▽多職種への要望

- ・ 本人と家族の希望をまとめてほしい
- ・ 口腔ケアやリハビリの必要性や継続性をもっと家族や介護職員等に理解してほしい
- ・ チームでのケアを進めていきたい

情報共有を円滑に行う為の解決策及び意見・要望

▽解決案

- ・ 訪問診療後の情報をケアマネに伝え情報共有を図る
- ・ 多職種で患者や家族へ関わり、口腔ケアの必要性を助言する
- ・ 歯科と医科の言語については、患者に説明する様な言葉で共有する
- ・ 歯科用語や医科用語を共通理解する場を設ける
- ・ 口腔ケアに対する認識を深めるため自主学習会を企画してほしい

▽意見・要望

- ・ 本人と家族の希望が合わないときがある
- ・ 歯科医からみて、多職種がどういう情報がほしいのかがわからない

薬剤師が抱える多職種連携上の課題

○前回の議題

▶在宅医療を行うにあたり、どのような情報がほしいか？

▶また、どの職種と連携を取りたいか？



▽課題

- ・ 医師との連携はやりやすいが、ケアマネとの情報共有が難しい
- ・ 家族がいない患者は情報が掴みにくい

▽多職種への要望

- ・ 主に医師とケアマネと連携をとりたい
- ・ 血圧などの連続性のある情報がほしい
- ・ 担当者会議へ参加したいが出席できないのでお薬手帳へ記入をお願いしたい
- ・ ケアマネから患者の生活歴や、サービス利用状況などを聞きたい
- ・ 薬の飲み合わせが悪い場合がある為歯科医師や訪問が入ったら教えてほしい
- ・ 麻薬の取り扱いについて医師と連携をとりたい
- ・ ショートステイや入退院を知らせてほしい
- ・ ケアプランに薬剤師の欄を作してほしい

情報共有を円滑に行う為の解決案と意見・要望

▽解決策

- ・ヘルパーと支援ノートを使って情報共有を図る
- ・薬剤師と薬についての勉強会をする
- ・薬の説明、内容をFAXやメールなどで共有する
- ・服薬管理、日付、飲み合わせの情報を訪問看護で申し送りをする

▽意見・要望

- ・薬剤師が訪問を行うには、薬局に複数の薬剤師がいないと難しい
- ・薬剤師がそもそもどういう情報がほしいのかがわからない
- ・ケアマネから情報が来ない
- ・担当者会議に出席したいが、時間あわせが難しい

看護師が抱える多職種連携上の課題

○前回の議題

▶どの場面で医師と連携を取りたいか？どのような手段で情報がほしいか？



▽課題

- ・開業医との連携はとりやすいが、病院医は院内にいても連携がとりにくい
- ・訪問看護を行うとき、主治医以外他病院の情報が取りにくい・急変時、施設は看護師判断になる為不安。医師と連絡を取りたい
- ・通所施設から連絡を取る時、主治医との連絡経路がわからない
- ・介護系施設で血圧が高い時など、救急ではないがいつもと状態が違うとき等医師に連絡をとりたいが、そんなことでと思われそうで迷う

▽多職種への要望

- ・訪問診療の内容や訪看が行うべき具体的な指示内容がほしい
- ・診療方針がぶれるときは主治医と連携をとりたい
- ・他職種とも情報の共有を図りたい

前回抽出された課題に対する解決案と意見・要望

▽解決案

- ・ 担当者会議にできるだけ医師に参加してもらう。無理なときはNsが出席する
- ・ Nsも主治医や病状を把握し、主治医へ情報を把握しやすい環境を整えておく
- ・ 日頃から病院の看護師やMSWと連絡を取り、窓口の確認をしておく
- ・ 緊急時の対応マニュアルを作成する
- ・ 日中、Nsの多い時間帯にできる限り対応をしておく

▽意見・要望

- ・ 家族へ夜間、休日、365日対応可能な病院を紹介する
- ・ 医師同士の連携もしてほしい
- ・ 看護師の質を高める
- ・ 連携室が無いところは、どこに相談すればいいかわからない
- ・ 急変時に医師に連絡したら、担当医が変わっていた事がある

ケアマネジャーが抱える多職種連携上の課題

○前回の議題

- ▶医師と連携を行う際、どのような工夫をしているか？
- ▶担当者が不在の時、どのような方法で情報の共有を行えば円滑に進むか？



▽課題

- ・ケアプラン連絡票で連携を取っているが、作成に時間がかかってしまう
- ・病院の医師ほど、在宅介護の意識が薄いと感じる
- ・病院は相談員と連携をとるため医師の名前は知っているが、顔がわからない
- ・関連施設との連携は取りやすいが、他病院の医師との連携は難しい
- ・ケアマネとして医師との連携に躊躇してしまう、敷居が高く感じる
- ・担当不在時は連携がとりにくい

▽多職種への要望

- ・医療ニーズの高い利用者は直接主治医と連絡が取りたい
- ・直接医師に会いに行った方が情報共有や連携がとりやすい

情報共有を円滑に行う為の解決策と意見・要望

▽解決策

- ・Nsにケアプランなどの書式を把握してもらい、Drが書きやすい様にする
- ・診察に立ち会い、Drと情報共有を図る
- ・Drから情報が得られにくい場合は、家族に了承を得て診察に立ち会う
- ・ケアマネとDrの面会日を設ける
- ・担当が休みでもメールで連絡をとる
- ・緊急時に担当が不在の時は、他の職種と連絡を取って対応する
- ・担会の時に緊急時の対応について決めておく
- ・Drの往診の時間に合わせて連携をとっていく
- ・MSWや事務の方と連携をとりやすくする
- ・キュアケアネット等を利用し、常に新しい情報を共有する

▽意見・要望

- ・病院に出向いて医師に顔を覚えてもらう
- ・担会には薬剤師にも参加して情報共有を図りたい
- ・ヘルパーからの情報が医師に届いているかわからない
- ・書類がいきなりFAXで送られたらてきたら困る。まずは電話連絡がほしい

医療ソーシャルワーカーが抱える多職種連携上の課題

○前回の議題

- ▶ 医師と連携を行う際、どのような工夫をしているか？
- ▶ 担当者が不在の時、どのような方法で情報の共有を行えばいいか？



▽課題

- ・ 急性期病院の医師は院内にいても掴まえにくい
- ・ 病院の医師は、在宅の事にあまり理解がないように感じる
- ・ ケアマネと連携をとっているが、文章にして医師に報告すると時間がかかる
- ・ 患者の退院日の情報が医師から伝わらず、決まっていることがある

前回抽出された課題に対する解決案と意見・要望

▽解決策

- ・ソーシャルワーカーが医師と在宅の間に入り、情報の整理を行う
- ・SWと医師の関係作りをし、他職種から医師への情報を伝えやすくする

▽意見・要望

- ・医師に担当者会議への参加をお願いしてもあまり参加してくれない
- ・急性期病院に入院された患者の、入院前の情報を教えてもらえたら、その後の治療や支援に生かせる
- ・医療のことは分かってても介護のことに理解のない医師が多い

理学療法士・作業療法士が抱える多職種連携上の課題

○前回の議題

- ▶他職種と連携を行う際、どのような内容の情報が必要か？
- ▶また、どのような方法が連絡が取りやすいか？



▽課題

- ・施設や在宅へ送った患者の情報が足りたか、その後の情報のフィードバックがない
- ・医師は忙しいのではないかと引け目を感じる

▽多職種への要望

- ・回復期後、患者が行く施設や病院からどのような情報がほしいかを教えてほしい
- ・訪問リハの指示書をもらう際はケアマネが主治医と調整をしてほしい
- ・住宅改修の際は同席して直接意見を伝えたい

情報共有を円滑に行う為の解決案と意見・要望

▽解決策

- ・あらかじめDrへ連絡して時間をとってもらう
- ・外来受診などに同席する
- ・初回の指示書、通りハの診断書など、医療系サービスについては、ケアマネが依頼する

▽意見・要望

- ・退院時に患者宅を訪問し住宅の状況などを確認しているが、急性期病院との時間調整が難しい
- ・具体的に何の情報が必要かをはっきりしてほしい
- ・退院時はリハスタッフと連携出来るが、在宅サービスだけの利用になると、継続したリハビリの情報・評価などの判断がつきにくい

介護職員が抱える多職種連携上の課題

○前回の議題

- ▶医師との連携はどの場面で必要か？また、どのような連携を取りたいか？
- ▶情報共有を円滑に行うにはどのような方法がいいと思うか？



▽課題

- ・介護側から見ると医師に対して敷居が高く感じる
- ・夜間の急変時の対応が不安
- ・主治医によって連携がとりにくい所がある
- ・利用者からヘルパーへ体調の相談があったとき、病院に連絡していいかわからない

▽多職種への要望

- ・ヘルパーが動いている時間に連絡が取れる関係を作りたい
- ・勉強会などで医療的な知識や技術を学びたい

前回抽出された課題に対する解決案と意見・要望

▽解決策

- ・ 利用者の状況など知り得た情報は、朝のカンファレンスで情報共有する
- ・ 緊急時にはあらかじめマニュアルを作っておき、連絡先などを明確にする
- ・ 総合病院の医師とはMSWを通して連絡をとる
- ・ 病院受診時に、家族から日頃の情報をDrに伝えてもらう
- ・ 事業所のCwからNs経由で、ご家族へ日頃の状況を報告する
- ・ 急変時に介護職員から連絡をしていいか、事前にDrに確認している
- ・ 緊急時にDrと連絡を取るべきか、勉強会などで医療的知識を身につけ、事前に取り決めを行う必要がある

▽意見・要望

- ・ 現場のスタッフが医師と直接話をするのはあまりない

多職種でのグループ討議を行い、様々な意見が飛び交いました

